

「ニュージーランドへ移住」：学習シナリオ 荻野

タイトル
「ときめき取材記～ニュージーランドへの移住」
目標
カンタベリー大学の日本語学習者（中級後半～上級）が、『くりっくにっぽん』の「My Way Your Way」と「ときめき取材記：学生が気になるあの人にインタビュー」の企画・取材・記事づくりを参考にしながら、テーマである「ときめき取材記～ニュージーランドへの移住」に合致する日本人について情報収集・調査を行い、海外生活や移住に興味がある日本人読者を対象とした記事を作成する。 対象とした読者に①「何を伝えたいのか」、②「記事を読んでもらうことから何につなげたいのか」を明確にして、このプロジェクトワークに取り組む。 完成した記事はインターネット上に（限定あるいは一般）公開する。プロジェクトは毎年度実施し、成果物を蓄積する。次年度の履修学生に公開し、ウェブサイトへのコメントの書き込みにより交流を図る。
学習シナリオ
3人のグループに分かれ、テーマ「ニュージーランドへの移住」に合致する日本人について情報収集・調査を行う。成果物として記事を作成する。完成した記事はインターネット上に（限定あるいは一般）公開する。 調査対象者は下記の二つを満たすものとする。 ①ニュージーランドに移住してきた日本人 ②ある領域（仕事、趣味、スポーツなど）で活躍している日本人（インタビューを行うのでクライストチャーチ在住が望ましい） - 移住する上での「転機」を記事内容に必ず含めること。 - 優れた記事は公益財団法人国際文化フォーラム http://www.tjf.or.jp のウェブサイトで開催する可能性があるため、調査対象者にそのことを伝え、了解してもらうこと。（依頼書と承諾書あり） 1 情報収集・調査方法（下記の方法を併用する） - ドキュメント調査（書籍・インターネットサイト） - インタビュー調査

2 オンライン特別講義

- 『インタビューの魅力、心構え、コツ』 国際文化フォーラム事務局
- 『インタビュー記事にふさわしい写真の撮り方』 国際文化フォーラム事務局
- 『記事をまとめるコツ』 国際文化フォーラム事務局

3 Facebook group（非公開）

- クラスメイトと特別講義担当者に自己紹介の投稿をする。
- インタビュー記事の写真撮影の練習として、写真とキャプションを投稿し、フィードバックをもらう。

4 発表

発表1：ドキュメントリサーチ発表（各グループ5分、スライド使用可）

発表2：企画とインタビューの質問を発表（各グループ5分、スライド使用可）

発表3：インタビューについての報告（各グループ5分）

①インタビューで得た最大の成果 ②成功したこと ③改善が必要なこと

発表4：最終発表『プロジェクトを通して学んだこと』（個人発表）

5 成果物：記事

- 1800字以上のテキスト（一人600字以上）
- 写真4～5枚以上（動画が入ってもよい）
- 移住する上での「転機」を記事内容に必ず含めること。
- 文章と写真のレイアウトに配慮し、読みやすくわかりやすい記事に仕上げること。
- 性・暴力・犯罪を扱ったもの、誹謗中傷が入るものはインタビューにも記事にも含めないこと。
- 優れた記事は公益財団法人国際文化フォーラム <http://www.tjf.or.jp> のウェブサイトで公開する可能性があるので、調査対象者にそのことを伝え、了解してもらうこと。（依頼書と承諾書を使用する）

6 振り返りレポート：『プロジェクトを通して学んだこと』

- 400字以上
- MS Word でタイプして Moodle で提出

総括的評価

- テーマについて他者との協働を通して調べることができる。
- ドキュメント調査（書籍・インターネットサイト）とインタビュー調査を計画し、実行することができる。
- 得られた情報をグループでまとめ、他者に伝えることができる。
- 他者の発表や意見を受け止め、議論や討論ができる。
- 調査結果をまとめ、読者にとってわかりやすく、興味を持ってもらえるような記事を日本語で作成できる。
- 自らが作成した記事を読んだり、それに対する他者からのフィードバックとコミュニケーションを通して、自分の考えや理解をさらに深めることができる。

参考資料：「外国語学習のめやす」マスター研修 2014 課題発表:目標設定・学習活動・評価 作成者:田中祐輔/東洋大学講師(日本語)

田中祐輔(東洋大学 / 日本語) http://www.tjf.or.jp/meyasu/support/docs/plan_tanaka.pdf

必要な文書

- インタビューーへの依頼書（TJF 企画書フォームを参考にする）
- インタビューー及び学生へのウェブサイトへの記事・写真掲載の依頼書と承諾書

活動の流れ

前期前半	
1.	• インTRODクシヨン：プロジェクト概要、目的、タイムライン • 「くりっくにつぼん」紹介 • 「くりっくにつぼん」「My Way Your Way」を読み、①どの記事に興味を持ったのか、②その記事のどこに惹かれたのか、③それはなぜなのか、について話し合う。「内容」だけでなく、構成、表現の観点からも話し合う（時間がない場合は第2週にも話し合いを行う）。
2.	• 3人一組のグループを作る。 • グループごとにインタビュー候補者の検討を開始。 • 「移住」についてのドキュメントリサーチを行う。各グループで下記のうちの一つのトピックを選び、第4週に発表（5分、スライド使用可）する。 • ①NZと移民（概要）、②日本人の移民（世界）、③NZへの日本人移民（過去から現在）、④NZへの日本人移民（現在と将来）、⑤クライストチャーチへの日本人移民 • オンライン特別講義をしてもらう TJFの方に自己紹介文を書く(Facebook Secret Group)。
3.	• ゲストレクチャー「インタビューの魅力、心構え、コツ」 国際文化フォーラム事務局副主任
4.	• 発表1：ドキュメントリサーチ発表（各グループ5分、スライド使用可） • インタビュー候補者決定と非公式コンタクト • 企画とインタビューへの質問の検討開始。（企画検討用ワークシートあり） （事前に相手についてよく調べ、深い話を引き出すための質問を考える）
5.	• インタビューの質問を含めた企画準備 • 次の3つを含めること。①なぜその人を選んだのか、②何を知りたいのか、③そのためにどのような質問を考えたのか。
6.	• 発表2：インタビューの質問を含めて、企画を発表（各グループ5分、スライド使用可） 次の3つを含めること。①なぜその人を選んだのか、②何を知りたいのか、③そのためにどのような質問を考えたのか。 • クラスからのフィードバック（感想シート）を得て質問を仕上げる。 • インタビューに正式依頼 • ゲストレクチャー「インタビュー記事にふさわしい写真の撮り方」 国際文化フォーラム事務局

「めやす」×「くりっく」プロジェクト

7.	● 模擬インタビュー（クラス内で実施）（時間がなく実施できなかった） ● ゲストレクチャー『記事にまとめるコツについて（仮題）』 国際文化フォーラム事務局副主任
前期後半予定	
8.	● インタビュー本番 ● インタビュー終了次第、記事の作成開始。
9.	● 発表3：インタビューについての報告（各グループ5分） ● ①インタビューで得た最大の成果、②成功したこと、③改善が必要なこと ● 記事の作成
10.	● 記事原稿提出
11.	● 担当教員からのフィードバックを得て、原稿に加筆修正し、第二原稿提出。
12.	● 発表4：最終発表 ● 振り返りレポート提出（600字以上、MS WordでタイプしてMoodleで提出）。 ● 記事の完成

参考

<http://www.tjf.or.jp/clicknippon/ja/henblo/post-4.php>

<http://www.tjf.or.jp/tokimeki/>

公益財団法人 国際文化フォーラム

<http://www.tjf.or.jp/jp/overview/index.html>

「ニュージーランドへ移住」：3×3+3分析_荻野

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	・ リサーチテーマに関する日本語表現がわかる ・ 伝えるための発音の重要性がわかる。	・ 日本の文化の多様性がわかる。	・ Website、Facebook Group やビデオ会議室 Zoom など様々な媒体を活用して、情報を得たり、発信したりすることの重要性がわかる。
できる	・ ドキュメント調査(書籍・インターネットサイト)とフィールドワーク調査、インタビュー調査等、複数の調査を計画し、実行することができる。 ・ 必要な情報を聞き取ったり読み取ったりすることができる。 ・ 他者に伝えることができる。 ・ 得られた情報を複数人でまとめ、調査結果をパワーポイントにまとめることができる。 ・ 調査結果をまとめ、聴衆にとってわかりやすい発表ができる。 ・ 調査結果をまとめ、読者にとってわかりやすい記事が書ける。	・ 日本とニュージーランドの文化を比較しながら、共通点や相違点を考え、その背景にある要因について推測できる。	・ 関心のあるテーマについて他者との協働を通して調査を遂行することができる。 ・ PC やスマートフォンなどを活用し、情報を収集したり、その結果を効果的に編集したりすることができる。 ・ 収集した情報をリサーチテーマに即して考察し、論理的にまとめることができる。 ・ Facebook Group やビデオ会議室 Zoom などを使い、自ら発信できる。
つながる	・ 他者の発表や意見を受け止め、議論や討議ができる。	・ それぞれの文化の相違、共通点について理解しながらさらなる交流への意欲を高めることができる。	・ 自らが作成した成果物を読んだり見たりした他者とのコミュニケーションを通して、考えや理解をさらに深めることができる。 ・ 発表の成果物を互いに交換しあったり、WEB 上で世界に発信したりすることができる。
三連携	連携1：既習の学習内容や自分の関心分野とつながる。 連携2：テーマに即した人・もの・情報とつながる。 連携3：世界とつながる。		

参考：澤邊裕子 『日本とニュージーランド にほんご交流プロジェクト』

「めやす」×「くりっく」プロジェクト

「ニュージーランドへの移住」：目標分解_荻野

個々のタスク	小目標	中目標	大目標	
インタビューの候補者（①NZ に移住してきた日本人②ある領域で活躍している日本人）について自由に話し合う。	インタビュー候補についてブレインストーミングをする。	インタビューの候補者を検討し、決定する。	「くりっくにつぼん」の「My Way Your Way」と「ときめき取材記：学生が気になるあの人にインタビュー」の企画・取材・記事づくりを参考にしながら、テーマに合致する日本人について情報収集・調査を行い、海外生活や移住に興味がある日本人読者を対象とした記事を作成する	
インタビュー候補について②「ある領域で活躍している日本人」の観点から検討し、決定する。	インタビューを決定する。			
与えられたトピックについて必要な情報をどのようにして入手するかを考える。	情報の入手方法について検討し、メンバーと協力しながら必要な情報を収集し、整理する。	必要な情報を収集し、整理して、発表する。		
トピックについて情報を収集し、整理する。	メンバーと協力しながら、発表準備をする。			
様々な媒体を活用して情報を編集し、発表する。		インタビューの質問を検討し、企画を発表する。クラスからのフィードバックを得て、質問を仕上げる。		
発表内容と分担を検討し、発表準備をする。	インタビュー質問を仕上げる。			
発表する。				インタビュー実施の依頼をする。
クラスからのフィードバックを得て、インタビュー質問を仕上げる。				
インタビューに非公式にコンタクトをとる。	インタビューを行う。			
正式に依頼し、承諾書にサインをもらう。		インタビューの成果を発表する。		
インタビューを行う。	インタビューに基づき、記事を書く。			
インタビューについて①最大の成果②成功したこと③改善が必要なことについての発表準備をする。		記事を書く。（初稿）		
インタビューの内容をまとめ、整理し、記事化する。				記事を加筆修正する。（第二稿）
担当教員のフィードバックを取り入れ、加筆修正をする。				
TJF からのフィードバックを取り入れて、最終版を仕上げる。	最終発表をし、振り返りレポートを仕上げる。			
最終発表をする。		最終発表をし、振り返りレポートを書く。		
振り返りレポートを書き、提出する。				

「めやす」×「くりっく」プロジェクト

「ニュージーランドへの移住」：ルーブリック_荻野

評価基準	目標以上に達成 4	目標を達成 3	目標達成まであと少し 2	目標達成まで努力が必要 1
協働作業	メンバーと協働して情報収集、整理、発表、インタビュー、編集作業を行い、役割分担もバランスよく作業ができています。メンバーの持つ知識やスキルをチーム全体の活動に最大限活用している。	メンバーと協働して情報収集、整理、発表、インタビュー、編集作業を行うことができています。一人一人の作業の量に偏りがありません。メンバーの持つ知識やスキルをチーム全体の活動に活用している。	メンバーとある程度協力しながら作業ができていますが、一人一人の作業のバランスが平等とはいえない点があります。メンバーの持つ知識やスキルをチーム全体の活動に十分活用できていない。	メンバーとの協力体制がほとんど見られない。メンバーの持つ知識やスキルをチーム全体の活動に最大限活用できていない。
日本語	「クライストチャーチへの移住」というテーマについての情報の整理、発表、記事化の際、豊富な語彙や多様な文法表現を駆使し、聞き手や読み手にわかりやすく、場面に適切な日本語が用いられている。	「クライストチャーチへの移住」というテーマについての情報の整理、発表、記事化の際、聞き手や読み手にわかりやすく、場面に適切な日本語が用いられている。	「クライストチャーチへの移住」というテーマについての情報の整理、発表、記事化の際、読み手や聞き手の理解に若干支障をきたす日本語が用いられている。	「クライストチャーチへの移住」というテーマについての情報の整理、発表、記事化のタスクを達成するための語彙や文法表現が十分でなく、読み手や聞き手の理解に支障をきたしている。
プレゼンテーション	発表内容に関する知識や理解が十分あり、詳細もよく説明し、聴衆の質問にも適切に答えられる。様々な媒体を活用して情報を編集し、プレゼンテーションソフトなどを効果的に活用してわかりやすい発表ができています。	発表内容に関する知識や理解があり、聴衆の質問にもある程度詳細な説明を加えて答えられる。様々な媒体を活用して情報を編集し、プレゼンテーションソフトなどを活用してポイントをまとめた発表ができています。	発表内容に関する知識や理解が不十分なため、詳細な説明を加えられない部分がある。プレゼンテーションソフトなどを活用してポイントをまとめた発表ができていますが、情報の提示や構成に問題がある。	発表内容に関する知識や理解が不十分なため、聴衆が理解できない部分がある。プレゼンテーションソフトなどの活用ができず、また、相手に伝えようとする気持ち、態度が伝わらない発表である。
成果物	書籍やウェブサイト、インタビューで得られた情報に基づき、記事としての的確にまとめている。オリジナリティがあり、海外生活や移住に興味がある日本人読者の興味関心を引くものとなっている。	書籍やウェブサイト、インタビューで得られた情報に基づき、記事としてまとめている。海外生活や移住に興味がある日本人読者の興味関心を引くものとなっている。	書籍やウェブサイト、インタビューで得られた情報に基づき、記事としてまとめているが、内容に不十分な点がある。	書籍やウェブサイト、インタビューで得られた情報に基づき、記事としてまとめているが、内容が不十分である。